

**選択的評価基準：地域貢献の取り組みについて**

## 【選択的評価基準】 地域貢献の取り組みについて

### (a) 現状

本学では、学生のほとんどが青森県と岩手県（スクールバス通学圏内）の地元地域から入学し（過去5年間の平均では98%が両県出身者で占められている）、卒業生の約6割が出身県に就職している（平成28年度の卒業生は62%がこの両県内に就職した）。在学中も地元で実習を行っており、地域と密接な関係を築いている。教職員も地域の行政、商工業、教育機関、文化団体との交流活動を活発に行っている。

このような現状から、本学では平成25年度から「地域貢献の推進」を重点目標に掲げ、地域貢献活動を通じ、実践教育で学生の自主性と独自性を涵養する教育活動を展開している。平成28年度の事業計画は、「地域貢献の推進を引き続き実践し、学生の自主性の涵養と独自性の発揮を重点目標に掲げ、日々の教育を行う」である。幼児保育学科では「地域の保育に貢献できる保育者を養成する」、ライフデザイン学科では「学生の自立性・社会性を育成する」、看護学科では「地域の医療に貢献できる看護師を養成する」と目標を定め、地域との関わりの中で人材育成に取り組んでいる。全学的には地域学の導入や地域人の招聘を奨励し、学生や教員の地域研究活動の活性化を図っている。

平成28年度地域貢献活動報告によれば、教員の地域貢献活動は147件（幼児保育57、ライフデザイン41、看護49）となっている。

学科ごとの活動内容を分類すると次のようになる。

表1 平成28年度 教員・学生の地域貢献活動

	幼児保育	ライフデザイン	看護	合計
A 地域活力の創出	32	18	15	65
B まちの魅力創造	11	15	2	28
C 地域の安心確立	6	6	31	43
D 自治力の向上	8	2	1	11
合計	57	41	49	147

※ 八戸市総合計画後期推進計画・戦略プロジェクト四つの柱による分類

この表の数値から本学の地域貢献は「A地域活力の創出」「Bまちの魅力創造」「C地域の安心確立」に関わる活動が多いことがわかる。本学の地域貢献活動は「個性あるまちづくり」の展開と「子育て支援及び教育環境の充実」「健康づくりの推進と暮らしの相談体制の充実」など市民が安心して暮らすことのできるしくみづくりに関わる活動を行っているといえる。

「公開講座」に関しては、「八戸学院大学・八戸学院短期大学地域連携研究センター（以下、「地域連携研究センター」）」において大学と合同で公開講座を実施している。また、「生涯学習事業」では八戸市の高齢者教室「鷗盟大学」に参画しており、毎年本学の教員が講座を担当している。

平成28年度幼児保育学科の教員により企画実施された「保育の学校」は、68名の参

加者があった。内容の充実と参加者の増加が今後の課題である。

「正規授業の開放」については平成24年度からFD活動の一環として学内外授業参観を実施している。前・後期の2回、期間を定めて学外への授業公開を実施している。学外からの参加者が少なく、継続の課題である。

平成21年度から大学と合同で「教員免許状更新講習」を開講している。地域の幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員が対象で、大学と短期大学の教員が講義・演習を担当している。平成28年度は夏期1227名、冬期730名、合わせて1957名が受講した。教員免許状更新講習は地域に定着し、受講者から一定の評価を得ている。

地域社会の行政、商工業、教育機関および文化団体等との交流活動については、多数の教員が、地域からの要請に応じて多くの講座（講演会・研修会等の講師）を担当している。平成28年度の合計は38講座であった。担当した教員数は幼児保育学科7名、ライフデザイン学科3名、看護学科6名、合計16名となっている。内容は子育て・福祉・音楽・美術・体育・食育・コミュニケーション・IT・医療・看護等多岐にわたっている。教員の社会活動としては、13名の教員が25の各種委員会の委員やアドバイザー等を務め、28名の教員が84の調査・相談などを行い、行政・商工業・教育機関および文化団体等と交流活動を行っている。

表2 平成28年度 教員の地域貢献活動 ( )内は教員数

	平成28年度 教員の地域貢献活動			
	幼児保育	ライフデザイン	看護	合計
講座・研修等	23( 7)	3( 3)	12( 6)	38
委員・アドバイザー	5( 2)	9( 5)	11( 6)	25
調査・相談、その他	29( 9)	29( 8)	26(11)	84
合計	57	41	49	147

次に学生の活動としては、学科ごとに地域に開かれた多彩な行事を展開しており、学生は学びの成果を地域に公開することによって、共感や励まし、アドバイス等を受け、行事ごとに大きな成長を見せている。

幼児保育学科では八戸市主催の「はちのへ子どもフェスタ」における「オペレッタ」発表や新郷村主催の新郷チャレンジデイ、学生祭に来場した子供を対象にした「手づくり子どもの部屋」、ゼミナール活動として行っている地域行事での「読み聞かせ」などを実施し、地域との連携を重視した活動を展開している。学生には年3回以上の保育に関わるボランティア活動を行うよう指導している。

ライフデザイン学科では、ゼミナール学生中心の活動として、青森県立美術館で行われた「秋のおはなし美術館」での「日英朗読劇」への出演、「田子町の地域資源掘り起し事業」への参加、「食育活動」、「八戸せんべい汁研究所」が行う「まちおこし」イベントへの参加、「地元ケーブルテレビ局」の番組を制作するなどの多彩な活動を行っている。学科としては、全員参加の「ボランタリデー」を毎年実施し、28年度は「高齢化・担い手不足の農業ボランティア」を南部町の広範囲で行い、高齢化と

農業の現状・地域の課題も学ぶことができた。

また、地域行事への参加として、幼児保育学科とライフデザイン学科が「八戸小唄流し踊り」（八戸市七夕祭り前夜祭）に参加している。

看護学科では、学生は三八・上北・下北地区の広範囲の医療機関で実習を行い、地元医療機関との連携により実践力を身につけている。学生の多くが地元での健康調査や健康に関するイベントに参加し地域貢献をしている。毎年9月に実施される八戸市の「八戸健康まつり」には、多くの学生ボランティアが参加し、来場した市民の身体測定・血圧測定・骨密度測定等を行っている。

平成28年度の学生ボランティア活動は、届出のあったもので参加件数49件、参加者数287名となっている。保育所や幼稚園・福祉施設の行事の手伝い、サッカー幼児大会補助などである。この他に土曜日や日曜日、休日などに個人的にボランティアをしている学生が多数いる。

地域貢献は年数を重ねるにつれて、学生・教員による自主的、自発的な貢献事業が増加してきた。活動事例として「アートイズ(美術)」「プラスバンド演奏」「ハンドベル演奏」「八短ガールズ(放送)」「ウォーキングクラス(健康)」「プレイパーク(子ども)」「絵本読み聞かせ(子ども)」などがある。平成28年度の新たな活動に「保育の学校(卒業生)」「子ども食堂」「ブログのスタンプ」などがある。これらの活動によって本学の魅力・活力を地域に浸透させている。

## (b) 課題

地域社会に向けた公開講座は、本学単独では集客力が弱いため、地域連携研究センターと連携し、大学と合同で実施している。受講者からは高い評価を得ているが、公開講座・公開授業とも学外からの参加者が少なく、この点に大きな課題がある。これまで場所や時間・内容・対象者等を勘案してさまざまな試みを行ってきた。今後の取り組みを新たに考えるべき時が来ている。平成28年度新たに実施した第1回「保育の学校」は68名の参加者があった。地域の期待も大きい講座であり、内容の充実とともに参加者の増加が今後の課題である。

本学は長年多くの教員や学科が地域の団体と交流を持ち、活動している。しかし、個々の活動が単発、散発的に行われており、全体の連携や情報共有がなされていないことが問題であった。平成26年度より「地域貢献報告書」が提出されるようになり、活動の実態が明確になった。地域連携研究センターは、本学教員が地域と個別に交流を持ってきた活動を組織的・体系的に展開するために設立された組織であり、今後、地域連携研究センターとの情報共有、連携した活動が展開されなければならない。

学生のボランティア活動の報告数は学科により偏りがみられる。各学科のボランティア活動の把握、指導・報告体制の整備が継続課題である。

## (c) 改善計画

公開講座に関しては、当面、地域連携研究センターと協力してPR活動を強化する。また、地域の卒業生を対象に平成28年度から実施した「保育の学校」を継続、充実発展させるよう取り組んでいかなければならない。

地域貢献に関しても協定締結地域（階上町、五戸町、新郷村、田子町、八戸市）を中心に地域連携研究センターとの連携を図る。

平成26年度から提出されている「地域貢献報告書」の分析により「地域活力の創出」「まちの魅力創造」「地域の安心確立」に貢献していることが実証された。平成28年度も同様の結果が得られ、内容が拡充されている。地域文化の担い手としての活動を今後も継続していく。さらに今後は短大全体で発信や提案などを行い、地域を牽引する役割を果たしていきたい。

なお、平成25年度から掲げた「地域貢献の推進」事業は、当初の目的（本学の地域貢献の現状把握、分析、方向性、達成度等を明らかにする）を達し、平成28年度をもって終結とした。29年度からは地域連携研究センターとの連携事業となる。

### **【備付資料】**

- ・ FD報告書
- ・ ウェブページ各学科「教員一覧」「研究業績・社会貢献活動」  
幼児保育学科：  
<http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/yoho/teacher/>  
ライフデザイン学科：  
<http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/lifedesign/teacher/>  
看護学科：  
<http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/nurse/teacher/>

- ・ 地域貢献報告書

### **【地域貢献資料】**

- ・ 事業計画書（平成28年度）
- ・ 八戸学院大学・八戸学院短期大学 公開講座
- ・ 八戸市鷗盟大学
- ・ 第1回「保育の学校」資料
- ・ 教員免許状更新講習
- ・ はちのへ子どもフェスタ
- ・ ゼミナール活動「読み聞かせ」活動ポスター
- ・ 平成28年度ボランティアデー実施要項
- ・ 八戸小唄流し踊り
- ・ 八戸市環境・健康フェスタ2016ポスター
- ・ 平成28年度ボランティア集計表